鳥人間コンテスト（ﾌﾟﾛﾍﾟﾗ部門）　関係各位殿　　2007.7.12　日本大学ＯＢ　中村

（元 ｽｲﾌﾄC ﾊﾟｲﾛｯﾄ）

＜新タイプの人力乗り物、及びその試乗会のお知らせ＞

（人力乗り物本体の紹介）

早くも 31 回を迎え、すっかり琵琶湖での夏の風物詩となった鳥人間コンテストが
間近に迫ってきましたが、皆様如何お過ごしでしょうか。

去年、当番組の放映日が平日の金曜日になったことで、いやな予感（視聴率低下で消滅？）を
感じてショックを受けたのは、私だけではなかったのではないでしょうか。

私の勝手な判断となりますが、この人気低下は一般的な視聴者からの見地からは、
当コンテストで優勝する常連の機体は毎年全くと言っていい程 外観的に変わり栄えなく
感じられる為であり、今後の出場機では斬新的で思わずうっとりしてしまう機体の出現が、
視聴者から見放されてしまうことのない近年中には必要ではないかと、去年の放映をみていて
強く感じました。

さて このような状況の中での報告となりますが、上記改革にふさわしい乗り物を先日ネットで
発見しましたので、下記にご紹介致します。
（但し、当乗り物は空を飛ぶものではなく、船体が水面より浮上して走る人力水中翼船で、
なんと３年前より国内にて、株式会社ＮＯＡＡより一般販売されているものでした）

・製品名　：ＰＵＭＰＡＢＩＫＥ（人力水中翼船）
（詳細は､ﾈｯﾄ HP http://www.noaa.jp/html/3100.html にて参照下さい）
・製品特徴：①パイロットの体重の上下運動のみで水から浮上して走行（写真-1 参照）
②主翼が推進力も生み出す役割を果たすためプロペラが不要（写真-2 参照）
②人力とは思えない程の高速走行が可能：04/2/27 時速 32.4km 記録樹立

写真-1

写真-2

（試乗会の紹介）

当水中翼船の価値に気づくのが遅れ、飛び込みのお誘いとなってしまいましたが、
現在、今年の鳥人間コンテストに参加又は見学に来られる多くの飛行機好きの方々に、
当人力水中翼船にふれて頂こうと、下記試乗会を計画しています。

（但し、鳥人間ｺﾝﾃｽﾄ 2007 の運営や湖岸で遊泳する人達に全く支障を与えない範囲にて）

・日時　　：**７／２９（日）**9:00～15:00 **のみ**（7／28 土は 今のところ現場での準備としています）

・場所　　：「簡保の宿」側（南側）の湖岸（人気が殆どない所）を予定。

・試乗会状況：7／8 名古屋にて、今後も大ﾌﾗｲﾄが期待される大原選手（※1）に対し「流体を掴む感覚の再認識」
（推定）　を目的に行われた試乗会（写真-3）と同様を予定しています。　※1：元 MTB 日本 Champ

・運営安全　：安全性を考慮して、鳥人間コンテスト 1999 大会出場前日に大会会場にて行った乳酸値による
管理体制　体力測定（写真-4：12 ﾁｰﾑの有志ﾊﾟｲﾛｯﾄを測定）と同じく、専門業者同行により運営予定。

大原選手

写真-3
(7/8 試乗会)

写真-4

鳥ｺﾝ 1999　日大ﾌﾞｰｽ

乳酸測定
（ｱｰｸﾚｲ㈱協力）

大原さんは今回初体験であった為、当写真のように大きな踏み込み力で走っていました（力がないと水に沈む）が、乗りこなせれば殆ど屈伸もせずに、跳躍運動だけで十分走れます。（写真-1 と比較）

試乗した大原さんのコメント

ポンパバイクを試乗して感じたことは、スタート後のひと漕ぎ目から、さらさらであるはずの水が固まり、まるで地面の上を滑らかに走っているような不思議な感覚を得たことです。（※高さ方行は、前方の自動制御動作の翼により勝手に安定してくれます。中村）
また、水の上であるにもかかわらず、空の上を飛行機で飛んでいる感覚にも似ていると思いました。そして、自分の上下するリズムがポンパバイクと一体となった時、「水を掴まえている！」という感覚を楽しく味わうことができました。

当試乗会にて、より多くの方々に当乗り物の魅力（楽に宙に浮いて高速で走る。**ビール腹も楽しくへっこむ？**）**を体験してもらえるよう、①～③も準備していますので是非お越し下さい。**
（①複数の試乗機手配、②上級者による指導、③予約受付（※2）による有効な試乗提供を準備）

※2 試乗予約：大会前日 7/27(金)までに、メール（pbb@noaa. jp）にて願います。

尚、他当試乗会についてのご質問がありましたら、このアドレスにメール、又は
Tel （当日のみ有効 No 070-5406-7072）にてお問い合わせ願います。